

Do!

2022.AUTUMN

11月号

VOL.478

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02_ランチタイム特集
07_未来への羅針盤
09_創造祭特集
10_シリーズ獨協SDGs

NEW

ひまわり弁当



あの大人気店が学内に進出

西棟1階ロビーでこの秋から販売開始したのは、地元の大人気店「ひまわり弁当」。本店にはない獨協大学限定メニューもあり、開店当初から大人気となっています。お腹も心も満たされます。

【営業時間】月～金 11:30～13:30(なくなり次第、終了)



人気のハンバーグ弁当

お弁当 330円～350円
ドリンク 110円～



何を食べるか迷ったらここ！

35周年記念館2階にある「学生食堂」。現在のメニューは日替わりランチのほか、ベーグルサンドや種類の販売もあります。常設のレモン水はさっぱりしていて食事の時にはぴったりです。

【営業時間】月～金 11:30～13:30



新メニューの
カップスープ&
ベーグルサンド

学生食堂

ベーグルサンド(ハーフ) 200円 日替わりスープ 200円
種類・カレー 300円～ 日替わりランチ 500円～



ランチのお供に冷たいお水はいかがですか？
中央棟1階と学生センター1階にウォーターサーバーを設置しました。無料で利用できますので、マイボトルを持ってぜひ利用してみてください！



授業の合間にほっと一息

天野真祐記念館1階にある「STYLE CAFE」。ベーグルやパスタ、ピラフなどと飲み物のランチセットに加え、ドリンクメニューや、サーティーワンのアイスクリームも販売しています。

【営業時間】月～金 10:00～14:00



スタイルカフェ

ベーグル 210円～
ドリンク 150円～



今日、何食べる？

ランチタイム特集

6月に実施した「ランチタイム充実に向けてのアンケート」(回答学生数1,122人)で特に要望が多かった「パン屋とお弁当屋の誘致を」という声に応え、秋学期から2店舗が登場しました。学生食堂、スタイルカフェにも新メニューが増え、より選ぶ楽しみが増えたランチタイムを豊かにお過ごしください。



NEW

スタイルカフェ・スタンド



ランチから食後のデザートまで豊富にそろうお店

秋から学生センター1階で営業を再開した「スタイルカフェ・スタンド」。「パンとケーキのお店・朝日堂」のパンやスイーツを販売しています。惣菜パンからラスクなどの焼き菓子、ソフトクリームなど、種類は全部で40種類以上。授業の後の休憩にもぜひご利用ください。

【営業時間】火～金 10:30～15:00



惣菜パン、菓子パン 150円～280円
スイーツ類 170円～430円
ドリンク類 102円～178円



今日は、ハシゴしようかな

曜日ごとに異なるキッチンカーが1日3台やって来ます。この秋から新たに登場した注目のキッチンカーを2つ紹介します。その他のキッチンカーのスケジュールについては本学HPをご確認ください。

【営業時間】月～金 11:30～14:00(なくなり次第、終了)
※全てのキッチンカー共通

西棟前
Tue.



キッチンカー

東棟前
Tue.



NEW
Adamas 各400円

ワッフルを販売している「Adamas」。できたてのワッフルを食べることができます。ホットチョコレートも販売しているので、ご一緒にいかがでしょうか。

NEW
ごはん屋 I'm Home

「ごはん屋 I'm Home」の焼肉ビビンバ(600円)は、一度は食べたい大人気商品です。他にもキンバ(韓国風海苔巻き)やチキンクリーム煮などを提供しています。

食事 500円～ ドリンク 150円～



創設者天野先生のご令孫、安川氏が本学に寄付

本学創設者天野貞祐先生のご令孫で本学卒業(72年 経済)の安川ひろし氏より、コロナに対する学生支援として多額の寄付を頂いたことを顕彰するプレートが、天野貞祐記念館入口に設置された。プレートには本学からの感謝の意とともに、世界を舞台にビジネスを展開してきた自身の経験の支えになった天野先生の言葉が散りばめられている。安川氏は「皆さんも、世界に挑戦し、自分というブランドを確立してほしい」と獨大生へメッセージを送ってくださった。



オープンカレッジ特別講座

「オーストリア皇妃エリザベート

— 歴史・映画・演劇の中の虚像と実像 —

8月6日、天野貞祐記念館大講堂にてオープンカレッジ特別講座を開催した。ドイツ語学科 上村敏郎准教授、常石史子准教授、三宅舞専任講師の3名の報告は、各専門分野である歴史学、映画研究、演劇学の立場から、ミュージカルでも高い人気を誇るエリザベート像を検証する内容となった。

終盤には、ドイツ語学科長 青山愛香教授の進行により、3名の報告者が互いに内容を補足し、全体を振り返った。

本特別講座は、主に社会人を対象とした生涯学習講座「オープンカレッジ」の無料講演会。申し込み多数のため抽選に通った230名が来場し、併用したオンライン配信では1,180名が受講した。

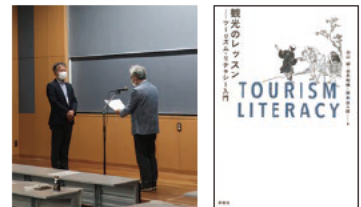


まとめ(相互トーク)の様子

教員著作『観光のレッスン』が 2つの学会賞を受賞

本学交流文化学科でツーリズム関連科目を担当する山口誠教授、須永和博教授、鈴木涼太郎教授の共著『観光のレッスン—ツーリズムリテラシー入門』(新曜社、2021年)が、第15回日本観光研究学会 学会賞・観光著作賞(一般)、および2022年度観光学術学会 学会賞・教育啓蒙著作賞を受賞。

日本観光研究学会と観光学術学会は、いずれも国内最大規模の観光系の学術団体。本書は「初学者に対して、これまでにない切り口で観光を学ぶことの意義を示した良書」として高い評価を受けた。



大学からのお知らせ

雄飛祭

第58回雄飛祭 11月4日(金)・5日(土)

- テマ 「Happy Holidays!」雄飛祭に少し早いクリスマスがやってきた!
- イベント 《両日》開祭式 閉祭式 in2022 ・学生団体による発表 ・模擬店
・ホラ ハウス ・フォトコンテスト ・セルフ写真館 ・脱出ゲム/緑日
《5日》・グランツコンテスト ・バブルサッカー ・よしもとお笑いライブ2022
- Twitter・Instagram @yuhifes



フォーラム

第33回獨協インターナショナル・フォーラム

新しい時代と生涯キャリア教育

— ドイツの「国家継続職業教育戦略」から何を学べるか? —

日時: 11月19日(土) 10:00~17:30
 申込方法: QRコードより要事前予約[定員あり 申込締切11月16日(水)]
 会場: W棟104教室、同時にオンライン配信あり(Zoom)
 使用言語: 日本語、ドイツ語(同時通訳)
 問い合わせ: 国際交流センター(パンフレット配布中)



産業や社会構造の変化の中、生涯にわたる継続的スキル養成が求められる。日本では企業のスキル養成機能が低下し、長期的観点から公的枠組みによる継続的スキル養成の必要性が増している。本フォーラムでは、継続的職業教育に国を挙げて取り組んでいるドイツの事例を検討し、我が国のあり方を考える。コーディネーターは、大重光太郎教授(外国語学部ドイツ語学科)

第6回図書館講演会を開催

6月29日、第6回図書館講演会を開催した。学生・教職員のほか、オープンカレッジ受講生、卒業生も含む約80名が参加。本学ドイツ語学科の青山愛香教授が「レオナルド・ダ・ヴィンチとデューラー —レオナルドの『手稿』から読み解くルネサンス美術—」というテーマで講演した。

青山教授は、レオナルドの思想や芸術がデューラーの作品や今日の世相にまで通じる部分があると解説。講演後、参加者は貴重図書を鑑賞し、手稿の大きさや、素描の緻密さを体感していた。



本学の北側に 「獨協大学コミュニティスクエア」が 2023年4月完成予定

2023年4月、本学の北側に位置する新たな敷地に、「獨協大学コミュニティスクエア」が完成する。

この建物は、「学術研究・教育活動×地域との開放的な交流の場」をコンセプトに、自由度の高い第二のキャンパスとして利用されるほか、獨協大学前駅西口周辺エリアの地域活性化に資することが期待されている。

また、周囲の施設や自然との融合を図りながらSDGs達成を目標に掲げており、国土交通省のサステナブル建築物等先導事業「省CO₂先導プロジェクト2021」に採択され、ゼロエミッション建物として、CO₂排出量削減を目指す。



2022年度9月卒業式を挙

9月20日、2022年度9月卒業式・学位記授与式を天野貞祐記念館大講堂で挙

行し、52名の卒業生が本学を巣立った。山路朝彦学長は式辞で「本日卒業の皆さまには、直面する幾多の課題に対応できる『感性と技能』、人の悲しみに共感できる『想像力』に一層の磨きをかけ、『自信』をもって仕事に生活に臨み、揺るぎない人生を築いていただきたい」と述べた。

また、卒業生を代表して染谷英利さん(環4年)は「獨協大学では経済学部での学びに加え他学部の授業も積極的に履修した。特に『介護ボランティア論と実践』という科目で学んだ『バリデーション』という認知症患者に対するコミュニケーション技法には強く心を動かされた。本学で学んだことを活かし、人生という旅路を歩んでいきたい」と謝辞を述べた。

■学士 独3名、英14名、仏2名、交10名、言3名、済5名、営6名、環3名、律3名、関2名、総1名 計52名



オープンキャンパスを開催

6月5日、8月6・7・27・28日、10月2日に、人数制限やコロナウイルス感染症対策を徹底したうえで来場型のオープンキャンパスを開催。高校3年生に加え、高校1、2年生やご父母など、6日間で計11,328名の来場があった。

模擬授業やキャンパスツアーのほか、在学生トークライブなどの企画に、多くの高校生が参加した。当日の運営にあたった学生スタッフの加賀田真衣さん(環3年)は「私はオープンキャンパスに来て受験をしようと決めた。1人でも多くの高校生に魅力が伝われば」と語ってくれた。



真剣な表情で相談する来場者

2022年度防災基本訓練実施

10月19日、2022年度防災基本訓練を実施した。授業中に「首都直下地震」が発生し、震度6強の地震に見舞われたという想定で、学生・教職員がシェイクアウト訓練、避難者安否情報集約訓練、および避難誘導訓練を行った。また、希望者参加訓練では、避難所設営訓練、備蓄品の配布訓練を実施。避難所設営訓練では、草加市危機管理課の協力を得て災害対策用のテントなどを設営したほか、障がい者支援の取り組みとしてイーバックチェア利用想定訓練も実施した。



3年ぶりに起震車体験等も実施(草加八潮消防組合協力)

ウクライナ学生の受入れについて (キーウ国立言語大学との) 協定締結

昨今の危機的情勢により、安全な生活と学習の環境を失ったウクライナの学生に学修機会を提供するために、本学はキーウ国立言語大学(KNLU)と学生受入れに関する協定を締結した。

この協定に基づき、同大学で日本語を学んでいる3名の学生を秋学期から受入れた。うち2名は、本学キャンパスで日本語などの授業科目を履修している。まだ来日できていない1名も現在オンラインで授業を履修している。また、修学支援として奨学金の支給などの支援を行っている。

※キーウ国立言語大学

1948年にキエフ国立外国語教育研究所として設立され、1994年にキーウ国立言語大学に名称を変更した。学生数は約6,000名。日本語専攻を設置している。



各業界でトップランナーとして活躍する先輩に、学生記者がインタビュー。今回は、今年6月にホテルオークラ東京の代表取締役社長に就任された、梅原真次さんにお話を伺いました。



株式会社ホテルオークラ東京 代表取締役社長 梅原 真次さん(83年営卒)

本学卒業後、株式会社ホテルオークラに入社。Hotel Okura Amsterdam B.V.への赴任やオークラプレステージ台北の開業準備室長、総支配人、株式会社ホテルオークラスペースソリューションズの取締役、The Okura Tokyoの総支配人などを歴任し、2022年6月、代表取締役社長に就任。



現在とこれまでのお仕事について教えてください。

今年の6月よりホテルオークラ東京で代表取締役社長を務めています。具体的な仕事としては、社長就任前に総支配人を務めておりまして、ホテルにおけるサービス品質の管理といった総支配人業務を後任に引き継ぎつつ、宴席受注のお礼や挨拶回りといった営業活動をしていることが多いですね。過去にはオランダの阿姆斯特ダムや台湾での勤務、当ホテルの建替え時のプロジェクトマネージャーも務めました。「ホテルオークラ」を象徴するメインロビーを、開業時と変わらない姿で再現しようと奔走した事は印象的です。

このお仕事を選んだきっかけについてお聞かせください。

もともと母の実家が旅館を営んでいまして、

小さい頃からその様子を見てサービス業に興味を抱いておりました。身体を動かして働く仕事をしたいとも思っていましたしね。しかし大学生の時にホテルオークラでアルバイトをして、都会で多くの人と交流できるホテル業が、自分の理想と合っていると感じ、自分にとっての軸となりました。4年生の時に短期留学でイギリスへ行ったことも大きかったです。海外勤務や、海外の方と交流できるホテル業への憧れも強まりましたし、海外のホテルにも触れる良い経験になりました。

ただ、ホテルマンとしての仕事をずっと目標にしていたので、総支配人を務めたり、ましてや社長になるとは全然考えていませんでしたね。

お仕事で大切にしていること、スタッフに求めることを教えてください。

サービス業ではまず、「ありがとう」の言葉に喜びを感じられることが何より大切です。従業員自身が幸せでないとお客さまの笑顔も引き出せません。また、お客様に満足していただけるサービスを提供するには、一緒に働く仲間はもちろん、モノや仕事にも感謝と思いやりを持っていくべきです。どんな仕事でも、人と人のつながりの中でお互いに助け合う「和」の精神が欠かせません。すべてのことに感謝と思いやりをもって笑顔で働くからこそ、最高のサービスが提供できると考えます。

学生時代を振り返って、やっておいでよかったと思うことは何でしょうか？

まず語学の勉強ですね。英語はもちろんですが、当ホテルの場合、東アジアのお客様も多いので中国語も重宝します。私自身、学生時代にもっと勉強しておくべきだったと思うことがあります。お客様とお話しする機会も多いので、筆記試験の成績や技術的なことより、いわゆる社会常識のような、円滑なコミュニケーションができるスキルの方が役立ちます。当ホテルでも獨協大学の卒業生が何人も働いてくれています。コミュニケーションに長けているスタッフが多いため、学生の皆さんもぜひその部分を伸ばして欲しいですね。

あとは幅広い経験です。学生のうちによく学び、よく遊んでほしいと思います。勉強や部活動、サークル活動など、なんでも興味のあることを追求していくこと。これがいつかきっと役に立ちます。どうか充実した学生生活を送り、将来への糧にしてください。

メッセージ ～学生の皆さんへ～

- ① 社会人になると勉強する時間はない、今の時間を大切にしてしっかりとよく勉強しよう。
- ② よく勉強するだけでなくよく遊ぶのも大切。遊びの経験がコミュニケーションを成長させる。

学生記者



お客様や関わる人など相手の立場に立って物事を考える能力が、今後社会で活躍する上で不可欠だと実感しました。そのために、大学の内外で様々な体験をする事で、更に自分の視野を広げられるようにしようと思いました。



海外でも、国内でもホテルでサービス業を経験したことを伺い、私もたくさん語学を学んで、将来の仕事に生かしたいと思いました。人やモノにも思いやりを持って行動することが円滑なコミュニケーションに繋がると知り、実践しようと思いました。

授業評価アンケートは、授業に対する学生のみなさんの意見を伺い、今後の授業内容の改善を目的として各学期末に実施しています。アンケート結果は授業毎に集約し、授業を担当している教員や授業を開設している学部、学科にフィードバックしています。

2022年度春学期の授業アンケートは無事終了しました。大学全体での集計結果をご報告致します。

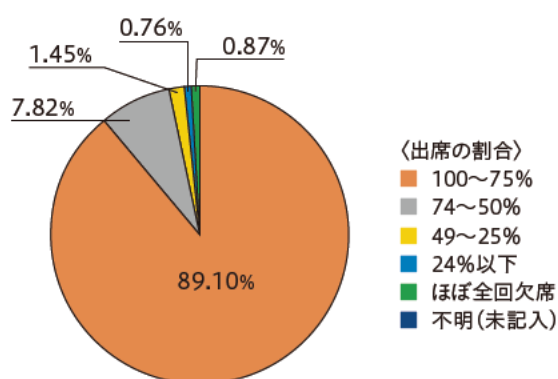
個々の授業の集計結果はPorTaIIをご覧ください。

■ 実施状況

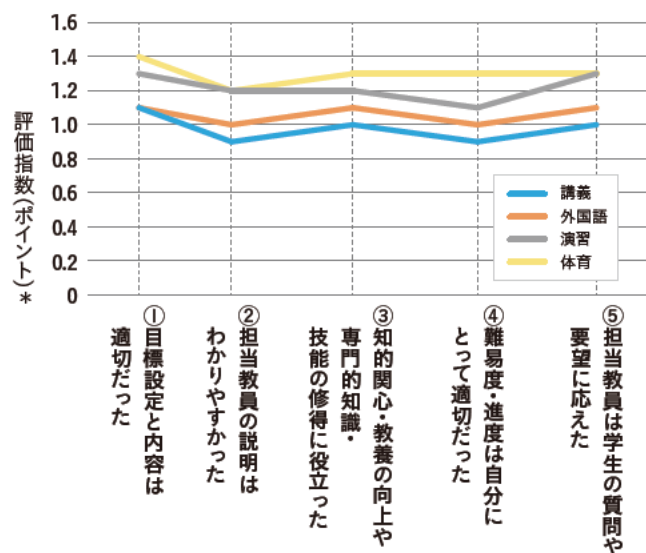
実施期間2022年7月4日(月)～7月24日(日) PorTaIIにて実施

	対象者数	回答者数	回答率
22年度春学期	7,998	3,226	40.33%
21年度春学期	8,059	3,000	37.22%

1. 出席状況(全学平均)



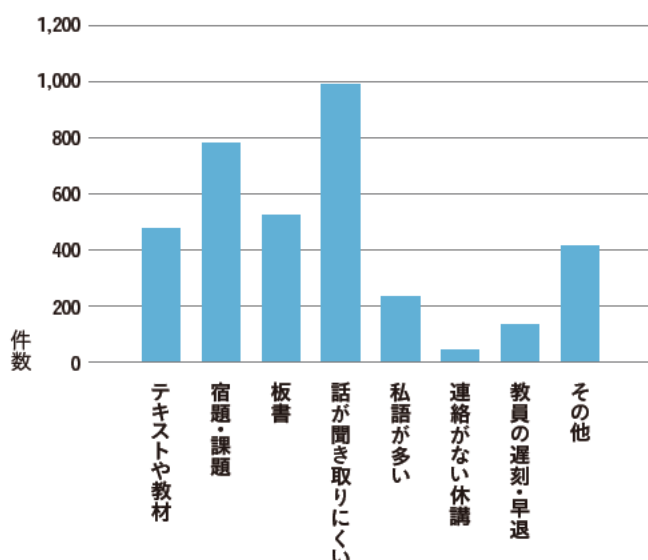
2. 授業評価(授業形態別)



*授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数(ポイント)としました。

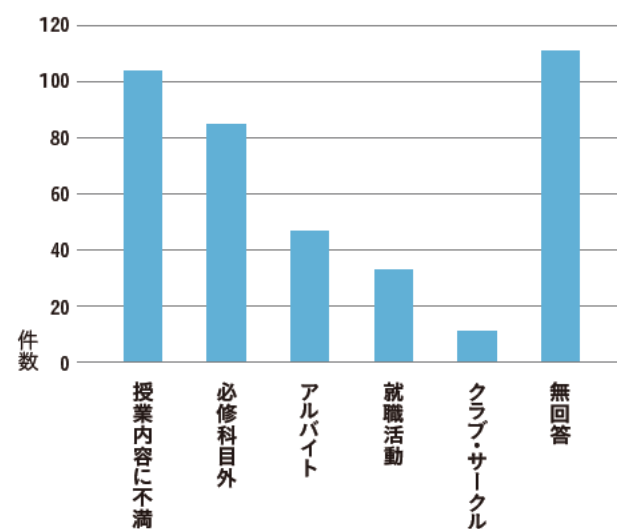
選択肢	ポイント
そう思う	1.5
ややそう思う	0.5
わからない	0
あまりそう思わない	-0.5
そう思わない	-1.5

3. 各授業の問題点(複数選択可)



4. 低出席理由(複数選択可)

1で、出席率が24%以下と回答した学生の欠席理由。



創造祭

雲外蒼天

第49回創造祭が5月25日(水)〜28日(土)に開催された。3年ぶりの開催となった今回のテーマは「**雲外蒼天**」。「困難を努力して乗り越えた先には、明るい未来がある」という意味を持つ。そのテーマにふさわしい展示・パフォーマンスが行われた4日間となった。



お笑いサークル ルナジリオ



雄飛ホールにて、お笑いサークル「ルナジリオ」の5組が漫才やコントを披露した。お笑いに対するパッションが感じられ、この中から将来芸人として活躍する人が出てくるのか、目が離せない存在となりそうだ。現在メンバー募集中。

書道研究会



雄飛ホールにて書道研究会による書道パフォーマンスが行われた。「嵐」や「あいみょん」のヒット曲の歌詞に合わせ、筆を走らせた。気迫に満ち、文字に込められた思いが感じられるステージで、観客の心を掴んでいた。

茶華道部



学生センター3階の茶室で、茶華道部による「清風茶会」が行われた。茶室に行くと、部員たちが笑顔で出迎えてくれた。20分ほどの茶会では、留学生等からも終始楽しんでた様子で、とても和やかな雰囲気であった。

ABORN



小講堂でABORNによるK-popやJ-popのダンスが計7曲披露された。「ENHYPEN」、「Kep1er」などの比較的新しい曲から「Stray Kids」、「fromis_9」、「INI」などの半年〜数年前の曲まで幅広く披露された。学生に人気で知名度が高いアーティストの曲が多く、多くの観客が楽しめる公演となった。



軽音楽部 Swingin' Cats J.O.



小講堂で軽音楽部「Swingin' Cats J.O.」がジャズライブを開いた。今回は1年生の初公演で、「Take5」や「茶色の小瓶」などの曲を演奏した。情熱が感じられ、心が熱くなるような演奏だった。



編集後記

今年度の創造祭は、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催でした。4日間を通して、演技や展示等のたくさんの発表が行われましたが、どのクラブ・サークルも blanks を感じさせないもので、楽しい時間を過ごすことができました。取材・写真撮影にご協力頂いたみなさん、どうもありがとうございました！

学生記者一同

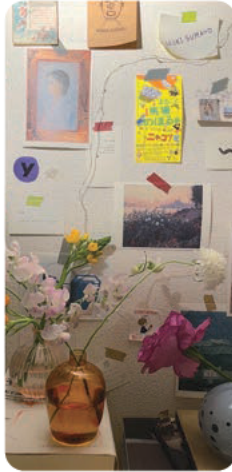


学生記者が行く



学生記者が見つけた、今注目すべき、ひとこと・もの・場所を、学生記者自らが独自取材。「グランツ(II)かがやく」と名付けて、お伝えします。

Glanz Person



さん
フランス語学科4年

今回は将来自分の生花店兼ギャラリーを開設したいという夢を持っているフランス語学科4年生の さんにお話を伺いました。華道をされているお母様の影響で幼い頃から花に親しみ、現在は生花店で働きながら様々なことに挑戦されています。

花と芸術に興味がある藤田さんは、過去には美術館でバイトをしたり、現在は生花店で働いています。一人暮らしのお部屋づくりのこだわりは、自身でセレクトした花と絵画と音楽で構成し、部屋に合う花瓶でお花を生けること。陶器やビンテージのガラスなどとの一期一会の出会いも大切にしているそうです。また、部屋の内装にもこだわりがあるとのこと、「自分の好きを詰め込んだ部屋にしたかったから

『ハウルの動く城』のハウルの部屋のような、東洋美術で溢れている部屋にした。だから絵画と本と花と音楽で8割構成されているかな」と語る藤田さん。
今後は花と美術をより深く知るためフランス留学を考えているそう。それだけではなく、生花店兼ギャラリーを運営するために必要な経営の知識も得たいと考えているそうです。

私が取材しました



私自身もフランス語学科で卒業後は就職以外の進路を考えていたため、 さんのお話を伺えたことは自分の将来に重ね合わせることでできる貴重な機会となりました。この記事が、 さんのように「一般的」な就職活動と異なっても、本当に自分のやりたい分野へ進もうとしている方の励みになれば幸いです。

Glanz Spot



Marble Kitchen (マーブルキッチン)

営業時間 11:00~18:00
定休日 木曜日、日曜日
電話番号 0489-16-1300
住所 草加市花栗4-10-7
Instagram marblekitchen063



今年の5月16日、お弁当・お惣菜屋さん「Marble Kitchen」が新たにオープンした。本学西門を出て左折し5分ほど歩くとお店がある。営業時間は11時~18時だが、商品がなくなり次第閉店とのこと。開店前から行列ができる人気のお店であるため、早めに行くことがオススメだ。店主の川本さんイチオシの唐揚げはとてもジューシー。川本さんは、元々介護施設で働いていた

ことから、近所の介護施設にもお弁当を提供している。お弁当以外にも惣菜を売っているので自分の好きな惣菜も選んで買うことができる。
Marble Kitchenのお弁当は、350円〜で温かいご飯がほっとする。手ごろな価格でまた日替わりでお弁当を楽しめるのも魅力だ。

私たちが取材しました



今回取材をさせていただきましたが、店主の方がとても優しく、また地域の方々に喜んでもらおうという想いがよく伝わってきました！お弁当やお惣菜は優しいお味で、体にも優しいなと思いました。お弁当やお惣菜は1人でも買いやすいので、いろんな種類のお弁当を食べてみたいと思います！！

本箱

本学の先生方が
執筆された新刊情報

須永 和博(交流文化学科教授)分担執筆
『基本概念から学ぶ観光人類学』
ナカニシヤ出版 2022年4月 2500円



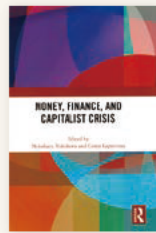
オリジナルな問いや思考から、観光の新しいアイデアを生み出すために、観光人類学の基本概念に基づいた知識・視点は欠かせません。本書はその基礎を提示し、定着を助ける入門書です。

有信 真美菜(ドイツ語学科非常勤講師)分担執筆
『アカデミズムとジェンダー
— 歴史学の現状と課題』
績文堂出版 2022年5月 1800円



キャリア形成、結婚・出産、ハラスメントなど、歴史学の女性研究者が抱く「生きづらさ」の背景を調査資料から探求。さらに男性研究者を交えた座談会を通じ、解決への方途を探る研究書です。

徳永 潤二(経済学科教授)分担執筆
『Money, Finance, and Capitalist Crisis』
Routledge 2022年5月 US\$160 £120



金融取引が経済規模を凌駕していることを経済の金融化と呼びます。本書は金融化が経済に与える影響とその行方についての国際共同研究です。

岡田 順太(法律学科教授)共編著
『法学概説』
弘文堂 2022年5月 2800円



複雑化する社会の共通言語となるべき「法」を、法学部ではない学生でも学び、社会で活かせるようにすることを旨とした概説書です。図表やコラムなど交え、コンパクトに解説しています。

安部 哲夫(名誉教授)分担執筆
『ビギナーズ少年法 (第3版補訂版)』
成文堂 2022年5月 2900円



「少年法」に関する概説書の補訂版。少年犯罪の処理について学ぶ教材です。令和3年の法改正によって「少年法」上で設けられた、18歳未満の少年と成人の間、18歳・19歳の「特定少年」についての規定にも対応しています。

北野 収(交流文化学科教授)共編著
『人新世の開発原論・農学原論
— 内発的發展とアグロエコロジー —』
農林統計出版 2022年6月 2500円



「開発原論」と「農学原論」、そしてアフリカ・アジア・欧米の実態から、開発と農業の未来を追求する一冊。「人類の時代」といわれる「人新世」の行く末を、「人と土」の関係という視点から考察します。分担執筆者には、学科卒業生2名も含まれます。

岡田 順太(法律学科教授)分担執筆
『〈分断〉と憲法 — 法・政治・社会から考える』
弘文堂 2022年6月 2500円



トランプ現象を皮切りに世界中で顕在化した「分断」。政治思想、ジェンダー、人種、経済格差…。日本にも関わるそれらの実相を、憲法学の視点を中心に15の論文から考察しています。

新井 孝重(名誉教授)絵・文
『絵本 太平記』
三省堂書店/創英社 2022年6月 2300円



「太平記」は、鎌倉時代から南北朝時代を経て室町時代に至る50年を描いた軍記物語です。その動乱の中を、人々はどう生きたのか、壮大な群像劇が、絵本として鮮明に描き直されています。

花本 広志(交流文化学科教授)共著
『新たな法学の基礎教育
論理的に読み・書き・議論するための基本』
弘文堂 2022年7月 2500円



法律を学ぶ人の論理的思考ナビとして、「論理的に読み・書き・議論する」ための基本を伝授する入門書。論理思考の基礎は、法律への学びを効率化する強力な助けになってくれます。

若尾 岳志(総合政策学科教授)分担執筆
『判例特別刑法 第4集』
日本評論社 2022年7月 7300円



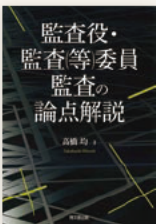
医事法や環境法、労働法などにおける刑罰法規(特別刑法)の適用に関する判例を研究・解釈する解説書の第4集です。第1～3集同様、特別刑法の適用の実態を明らかにし、刑法理論に基づいた解釈の指針を提示しています。

飯島 一彦(名誉教授)分担執筆
『歴史学としての日本音楽史研究』
和泉書院 2022年7月 15000円



日本音楽史を、歴史学の観点・手法でとらえ直した研究書。31本の論文に加え、コラムや座談会を交え、雅楽の淵源である唐代から明治期の音楽まで、日本音楽の全史を網羅しています。

高橋 均(総合政策学科教授)著
『監査役・監査(等)委員監査の論点解説』
同文館出版 2022年8月 2800円



本書では、監査役・監査(等)委員監査に関連した20の代表的な論点について、法と実務の両面から解説しています。近時の裁判例や、再改訂があったコーポレートガバナンス・コードへの対応も説明に加えています。

北野 収(交流文化学科教授)編著
『改訂普及版 共生時代の地域づくり
人間・学び・関係性からのアプローチ』
農林統計出版 2022年9月 2100円



「地域づくり」は、人々の生活や文化、環境、幸せな暮らしを守ることから始まります。本書では、そのサポートをするための新たなアプローチを「対話型教育」の視点から探り出しています。当時のゼミ学生との共同作業の成果です。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

獨協大学におけるLGBTQ学生を取り巻く現状と 支援ニーズ把握のためのアンケート調査

結果報告

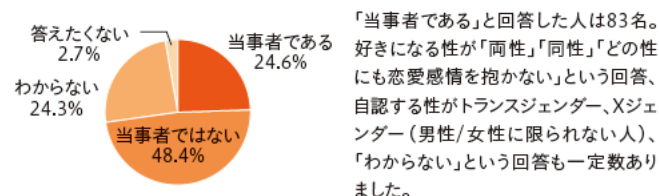
5 ジェンダー平等を
実現しよう



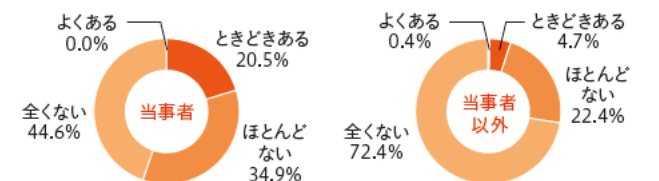
獨協大学ダイバーシティ推進連絡会*は、多様性を尊重する大学の環境整備に向けての計画策定の資料とするため、7月13日～8月9日、PorTallで全学生にアンケートへの協力依頼を配信、大学ホームページのアンケートフォームから意見を収集し、全学生の4.1%にあたる337名の学生から回答を得ました。アンケート結果の概要を報告します。

*ダイバ シティ推進連絡会
副学長を部会長、学生部長を副部会長とし、教務課、学生課、保健センター、入試課、キャリアセンタ の職員で構成。入学試験受験から卒業、キャリア支援まで、連携して学生サポートすることを目的とする。

■ セクシュアル・マイノリティの自認状況

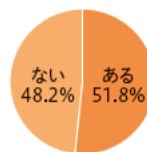


■ 他の学生から差別的発言を受けた／見聞きした経験



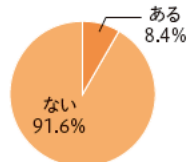
当事者のほうが、当事者以外より敏感に受け止めていることがわかります。「教職員からの差別的発言」についても、「他の学生から」とほぼ同じ比率でした。

■ カミングアウトの経験(当事者のみ回答)



電通ダイバーシティラボ「LGBTQ+調査2020」では、カミングアウト経験者は42.6%、未経験者は57.4%でした。本学学生のほうが、カミングアウトしやすい環境にあるのかもしれませんが。

■ アウティングの経験(当事者のみ回答)



本人の同意なしに第三者にLGBTQだと伝えられた経験のある人は、1割弱いました。

自由記述回答のなかで当事者および当事者以外の両方から多かった意見は「呼称を“～さん”で統一すべき」でした。また、セクシュアリティについてだけでなく、旧来の男女の役割差別的な教員の発言によって傷ついた体験をもつ学生が少なからずいることがわかりました。アンケート結果は会議等を通じて全教職員に共有し、速やかに改善につなげます。

また、以下の要望については、今後段階的に取り組んでまいります。
・ジェンダーとセクシュアリティを理解するための授業の増設、セミナーの開講
・誰もが安心して使えるトイレするための工夫
・匿名で相談できる相談窓口の周知

今回の調査結果をもとに、『ジェンダーとセクシュアリティについてのハンドブック』(仮称)を12月に発行予定です。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらり Vol.104 特別編



今回の「ぶらりらいぶらり」は特別編。普段あまり目にする事のない「自動書庫」へ学生記者が取材に行き、お話を伺ってきました。

■ 自動書庫とは？

機械が本の収納をするので「自動書庫」と呼ばれています。本学の自動書庫は100万冊の収容が可能で、日本でもトップクラスの規模を誇っています。現在図書館に所蔵している約100万冊のうち、約62万冊が自動書庫にあります。

■ 使い方

蔵書検索(OPAC)の画面で所在が自動書庫となっている場合、予約・請求ボタンからオンライン出庫請求をすると機械が動き出します。本の入ったコンテナは出納ステーションへと届けられ、利用者は1階メインカウンターで本を受け取ることができます。

■ メンテナンスについて

自動書庫は、2007年に導入されました。大切な資料を安全に保管し、利用者にも間違いなく届けられるよう、定期的に部品交換などのメンテナンスを行っています。特に2022年度は導入から15年目に当たることから、夏・秋・冬の3期に分けて、大規模なメンテナンスを予定しています。(詳細なスケジュールは、図書館ホームページなどでお知らせいたします。)

メンテナンス中は自動書庫からの資料の取り出しができず、作業音も発生しますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■ 自動書庫ツアー開催！

「シークレット・ライブラリーツアー(自動書庫ツアー)」を実施します。普段はスタッフも入れない自動書庫内を、特別にご案内します。

ぜひこの機会にご参加ください。

日時:11月28日(月)～12月2日(金) 12:50-13:20

集合場所:図書館1階入口前

※「集合場所」の看板前にお越しください。

定員:各回先着5名

(定員になり次第、開始時間を早めて出発することがあります)

【学生記者コメント】

膨大な図書館の蔵書を効率的に保管する設備を知る、良い機会になりました。今後は講義やゼミの資料収集で、自動書庫を利用しようと思います！

総合政策学科3年 跡部 雄太郎

普段利用する図書館の中にある、私達があまり知る事の無い裏側を見られてとても新鮮でした。他の利用者の方々にも、この様な縁の下の力持ちの存在を知ってもらいたいと思います。

英語学科1年 金子 愛美



自動書庫内の温度計兼湿度計。本のためにも、空調の管理は欠かせない。ちなみに、書庫の中の空気はひんやりと涼しく保たれている。



自動書庫の内部。このように、本の入ったコンテナがずらりと並んでいて、大変入り組んでいる。



出納ステーションにコンテナが到着したところ。コンピューターを使った請求から10分程度で、目的の本が私達の元へと届けられる。

「利用案内」の
詳細はこちらへ



<https://www.dokkyo.ac.jp/library/guidance/>

Cover Story

『Do! 獨協大学ニュース』11月号の表紙を飾ってくれたのは、現在ラクロス部に所属し、日本代表入りも果たしている さん。入学してすぐラクロス部の体験会へ行き、先輩が親身に教えてくれたことをきっかけに入部を決意。ラクロスを通じて、リーダーシップや責任感、努力を継続する力が身につく、私生活にも活かされているそうです。また、他大学のラクロス選手との交流が広がり、たくさんの友人ができたこともラクロスをやっているとよかったと感じることの一つだとか。今後は「ラクロス日本代表としてワールドカップに出場することや、ラクロスの知名度を高め、ラクロスのコミュニティを広げられるような活躍をすることを目標に活動を続けていきたい」と語ってくれました。



Photo by Kaoru Fujimoto

公式LINEスタンプ

大学公式キャラクター「マウス」のLINEスタンプができました!「日常で使いやすい」をコンセプトに24種類を制作。ご家族やご友人とのトークにぜひご利用ください。



〈2024年3月・9月卒業予定者対象〉卒業アルバムの個人撮影のお知らせ

期間: 11/8~11/11, 11/15, 11/16

時間: 12:00~17:30

会場: 35周年記念館 セブンイレブン奥

持ち物: 学生証(必須)、一緒に写りたいもの

問い合わせ: 学生会本部 卒業アルバム編集委員会

MAIL: sotsuaru@dokkyo.com

この看板が目印です



読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



編集	総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp
学生記者	秋元 杜馬(営2年) 跡部 雄太郎(総3年) 池下 奈穂ヴェレーナ(独3年) 伊藤 あす美(関4年)
[五十音順]	遠藤 夏乃(済4年) 大久保 賢斗(営1年) 岡田 陽依(英2年) 尾木 草輔(律3年)
	金子 愛美(英1年) 斉藤 駿斗(律2年) 佐藤 雪絵(仏1年) 杉田 慶一郎(律4年)
	鈴木 綾夏(英4年) 高橋 弘行(済4年) 田中 風羽(英1年) 程 帆(律2年)
	長橋 すす音(言3年) 原 友里恵(英2年) 藤岡 希(英4年) 藤崎 ゆな(営2年)
	古谷 一真(交2年) 堀口 太陽(英4年) 吉見 麻菜(済3年) 渡邊 帆風(営1年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済
営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>